学校番号	３１６

平成 31 年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「生物基礎」　（実教出版）						
副教材等	授業プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業で学習する内容を難しいと感じるかもしれませんが、毎回授業に出席して諦めずに取り組んで下さい。欠席したり、怠けたりすると、さらに難しいと感じるようになります。また、私語や睡眠などによる授業態度の不良や、教科書などの持ち物忘れも、授業内容の理解を難しくしますので、意欲をもって授業に臨んで下さい。授業プリントや課題の提出も求めますので、抜けがないように取り組み、後回しにして遅れて提出したり、提出し忘れたりすることがないようにして下さい。

2　学習の到達目標

生物や生物現象について、目的意識をもって、観察、実験、演習などを主体的に取り組み、
① 生物や生物現象に対する関心を高める。
② 生物学的に探求する能力を身につける。
③ 生物学的に探究する態度を身につける。
④ 生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	身の回りで目にする生物に興味をもち、マクロレベルだけでなく、目視ではわからないミクロレベルの生命現象にまで関心を持って基礎的な素養を身につけようとしている。	生態系、ホルモンや免疫、DNA など日常生活との関連を意識できる内容を学ぶことを通して、生物や生命現象の共通性と多様性の二つの視点を持つ見方や考え方を身につけている。	観察・実験の目的を理解した上で、手順を間違えずに、集中して作業に取り組み、作業や結果だけに終わらず、考察まで取り組める。他人に頼ることなく、自分の言葉で表現できる。	「生物の多様性と生態系」「生物の体内環境の維持」「生物と遺伝子」の基本的な概念・原理・法則を理解し、知識を身につけている。
評価方法	・授業プリント、課題、ファイルの提出状況(提出期日、完成度、メモ書き、提出枚数) ・授業態度(積極性、発言、取り組む様子、私語・寝る・悪い姿勢、他の作業・教科書等の持ち物忘れがないか)	・定期考査 ・小テスト ・提出物の完成度 ・授業中の発言 ・授業中の様子	・定期考査 ・レポート提出状況（提出期日、完成度） ・授業中の発言 ・授業中の様子	・定期考査 ・小テスト ・提出物の完成度 ・授業中の発言 ・授業中の様子

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期 前半	生物の特徴	・ 生物の共通性と多様性 ・ 細胞とエネルギー	○	○	○	○	a: 生物の多様性と共通性などについて、積極的に発言している。 b: 代謝、酵素の働き、光合成、呼吸の仕組みについて、図式・化学式で表せる。 c: 光学顕微鏡を操作でき、使い方を説明できる。 d: 細胞の構造と働きを知っている。	・提出物の提出状況 ・授業態度 ・定期考査 ・小テスト
1学期 後半	生物の多様性と生態系	・ 植生と遷移 ・ 気候とバイオーム ・ 生態系と物質循環	○	○	○	○	a: 環境要因(生物を取り巻く環境を構成する個々の要因)等について、積極的に発言している。 b: 生態系や物質循環について図式化できる。 c: 植生の遷移(裸地から森林に至る過程)を答えられる。 d: 気温と降水量の関係から、バイオームを答えられる。	・提出物の提出状況 ・授業態度 ・定期考査 ・小テスト
2学期 前半		・ 生態系のバランスと保全	○	○	○	○	a: 大気・水質の変化、森林破壊、砂漠化による生態系への影響と対策について、積極的に発言している。 b: 循環型社会を実現するための 4R を説明でき、その流れを図式化することができる。 c: 絶滅危惧種、特定外来生物を答えることができる。 d: 大気汚染・水質汚濁による環境問題、森林破壊の影響と対策、砂漠化の原因と対策を理解している。	・提出物の提出状況 ・授業態度 ・定期考査 ・小テスト

	生物の体内環境とその維持	・体内環境	○	○	○	○	a: 体内の器官とその働きについて、積極的に発言している。 b: 人の血液の成分と働きを表にまとめることができる。 c: 人の体循環、肺循環、リンパの流れを図で示せる。 d: 体液とその働き、腎臓と肝臓の構造と働きについて、理解している。	・提出物の提出状況 ・授業態度 ・定期考査 ・小テスト
2学期 後半		・体内環境の維持の仕組み ・免疫	○	○	○	○	a: 自律神経系とホルモンによる体内環境の維持のしくみ、免疫のしくみについて、積極的に発言している。 b: 自律神経系とホルモンによる体内環境の維持のしくみ、免疫のしくみについて説明できる。 c: 人類と感染症の歴史を時系列で答えられる。 d: 神経系、生態防御における用語を理解している。	・提出物の提出状況 ・授業態度 ・定期考査 ・小テスト
3学期	遺伝子とその働き	・遺伝情報とDNA ・遺伝情報の分配 ・遺伝情報とタンパク質の合成	○	○	○	○	a: 遺伝子とその働きについて積極的に発言している。 b: タンパク質の合成課程を図式化して説明できる。 c: 細胞分裂について、図を用いて説明できる。 d: DNA・RNA の塩基の種類、構成単位、構造について、答えられる。	・提出物の提出状況 ・授業態度 ・定期考査 ・小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。